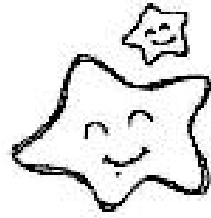


QSK にぬふあぶし

No.261

ね
子の方向の星



全国的評価の受賞が相次ぐ

「沖縄の精神障害者私宅監置」報道

9月18日、貧困ジャーナリズム賞(反貧困ネットワーク)に、沖縄タイムスの新垣綾子記者による「沖縄の精神障がい者の私宅監置問題」キャンペーン報道と、那覇市のフリーテレビディレクター原義和さんの「消された精神障害者～沖縄の私宅監置」(NHK・Eテレ、ハートネットTV)が選ばれました。

本紙新垣記者を表彰 貧困ジャーナリズム賞

反貧困ネットワークの宇都宮健児代表世話人(左)から表彰状を受け取る沖縄タイムスの新垣綾子記者=18日、東京都・文京シビックセンター

「(報告)反貧困ネットワーク」の貧困ジャーナリズム賞に、9月18日、2018年度「沖縄タイムス社会部の新垣綾子」が選ばれた。

精神障がい者私宅監置報道

綾子記者による「沖縄の精神障がい者の私宅監置問題」キャンペーン報道を選ばれる街3・11後の「言つてはいいくない真実」(講談社現代新書)③ワセタケロニクル「強制的な取材班」「精神障害者や障害者等への強制不妊手術」についてのキャンペーン報道ほか特別賞に2作品、那覇市のフリーテレビディレクター原義和さんの「消された精神障害者～沖縄の私宅監置」など2作品が選ばれた。

大賞はNHKのETV特集「長すぎた入院」精神障がい者による「沖縄の精神障がい者の私宅監置問題」キャンペーン報道を選ばれる街3・11後の「言つてはいいくない真実」(講談社現代新書)③ワセタケロニクル「強制的な取材班」「精神障害者や障害者等への強制不妊手術」についてのキャンペーン報道ほか特別賞に2作品、那覇市のフリーテレビディレクター原義和さんの「消された精神障害者～沖縄の私宅監置」など2作品が選ばれた。



9月20日には、日本民間放送連盟が日本民間放送連盟賞のラジオ報道番組部門最優秀賞に、ラジオ沖縄が放送した「私宅監置・沖縄～扉がひらくとき～」(企画制作・西中隆氏)を選んだと発表されました。

4月に沖縄県民ギャラリーで開催された写真展「闇から光へ」、知られざる沖縄戦後史～精神保健の歩みを見る・聴くを中心に報道された作品に対して、全国レベルでの評価を受けて受賞したものです。

監置小屋の保存活動に大きな力となります。12月には、呉秀三の私宅監置100年記録映画『夜明け前』上映とトークセッションも準備が進んでいます。

乞う、ご期待!

ラジオ沖縄 最優秀賞

民放連 私宅監置報道に評価

日本民間放送連盟(民放連)は20日、2018年日本民間放送連盟賞のラジオ報道番組部門最優秀賞に、ラジオ沖縄(ROK)が5月28日に放送した「私宅監置・沖縄～扉がひらくとき～」を選んだと発表した。沖縄の放送局がラジオ報道部門で最優秀賞を受賞したのは初めて。

番組は、自宅敷地内の小屋などに精神障がい者を閉じ込める「私宅監置」の歴史や、私宅監置が今に伝えるメッセージを探った。企画制作を担当した西中隆さん(48)は「賞は苦悩の人生を送られた当事者や関係者に当てられた光だ。彼らに感謝したい。精神障がい者との正しい歩み方を考えるきっかけになれば」と話した。

番組は1時間で、10月に再放送を予定している。

2018年 沖福連家族大会

日時：10月13日(土) 14時～16時30分

会場：沖縄かりゆしアーバンリゾート ナハ(6F)

那覇市前島3丁目25-1 (098-860-2111 とまりん内)

問合せ連絡先：沖福連 098-889-4011 (事務局：高橋、比嘉)

開催の趣旨

沖福連では今年度の家族大会を、上記のとおり10月13日(土)沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハにおいて開催することになりました。

今年の大会では、精神障害者と家族が地域での生活を、続けることが出来るように、＜コミュニティ・メンタルヘルス＞のネットワーク構築に取り組む精神科医の小渡陽順さん、そして、家庭や地域で環境調整で困っている現場に訪問、アウトリーチ支援を行ってきた訪問看護の新垣恵美子さん(訪問看護ステーション・リズム)のお二人に、実践活動を紹介していただきます。また、研修終了後、講師・報告者の皆さんとの懇親会を予定しています。

この機会に是非とも、当事者・家族の抱える悩みを持ち寄り、相談する機会にもしていただければ幸いです。どなたでもお気軽にご参加ください!! 参加費は無料です。

※ なお、懇親会と宿泊は人数を把握するために、事前に申し込みをお願いしております。上記の連絡先に、お問い合わせください。

家族大会 日程

13:30 受付開始 司会：我喜屋宗一(金武町家族会)

14:00 開会挨拶 沖福連会長 山田圭吾

来賓 沖縄県知事
那覇市長

14:20 講演・報告『コミュニティ・メンタルヘルス』
小渡陽順さん(心のクリニック 語り学び)
新垣恵美子さん(訪看ステーション・リズム)

15:10 休憩

15:20 座談会『安心の地域ケア・ネットワークとは』
仲本政師、比嘉 寿、増山幸司
高橋年男、小渡陽順、新垣恵美子

以上6名のクロストーク

16:10 質疑応答、フロアから

16:25 閉会の挨拶

兼浜克弥(はびわん)

※ 17時～、懇親・食事会

『地域包括ケア時代』

一 地域包括ケアシステムは・・・今後の支援体制の中心的な方向を定める重要な概念である。

一 当事者を中心とした協力体制、ネットワーク作りが目差されている。

一 治療中断や未受診などの事例への対応で大きな困難を抱えている。地域包括ケアは、多職種・多機関の共同作業の積重ね・・・地域のネットワークが育ってくる。

バザーリア法 40周年のイタリアで見てきた イタリア視察メンバーらとの対話

“様々な角度からともに語るこれから”

イタリアで精神科病院の廃止を定めて40年、どのように医療や福祉の支援者は革新を支え、当事者・家族、地域社会はそれをどう受け止めてきたのか。

私たち日本、そして沖縄でなにができるのか!?

イタリア視察メンバーが沖縄に大集合

沖縄の Special なメンバーも加わり 共に語り合ってみませんか?

対話の中でひとや希望・未来とつながりましょう

日時：**11**月**16**日(金) 18:45 ~

場所：沖縄県体協スポーツ会館 会議室

(那覇市奥武山町51-2) 奥武山公園隣)

内容：対話(全体トークライブ &

テーマに分かれてグループトーク)

参加申込：mail: terushino@castle.ocn.ne.jp

FAX: 098-888-5655

問合せ：098-889-4011

(てるしのワークセンター 担当: 知念・比嘉)

主催：うちなーde サルーテ協同組合

- - - - F A X送信票 - - - -

送信先 098-888-5655

てるしのワークセンター 知念・比嘉 宛

イタリア視察メンバーとの対話

様々な角度からともに語るこれから

【参加申込書】

代表者氏名	
所属先	
連絡先	

氏名	職種	関心ごと
		地域移行・就労・暮らし・その他
		地域移行・就労・暮らし・その他
		地域移行・就労・暮らし・その他
		地域移行・就労・暮らし・その他
		地域移行・就労・暮らし・その他
〈コメント〉		

E-mail: terushino@castle.ocn.ne.jp

問合せ：098-889-4011 (てるしのワークセンター 担当：知念・比嘉)

主催：うちなーde サルーテ協同組合

平成30年度

ピアサポーター 養成研修

ピアサポートとWRAP

????? ? ? ? ?

NPO法人東京ソテリア **ピアサポーター**
WRAPファシリテーター (アドバンスレベル)
全国各地でWRAPワークショップ実施。
「誰でも、何処からでもリカバリーできる世の中を」と
リカバリーの講演や執筆活動などを行っている
著書：WRAPを始める!—精神科看護師とのWRAP入門
【リカバリーのキーコンセプトと元気に役立つ道具箱編】
【WRAP(元気回復行動プラン)編】



< 本島 >

平成30年11月6日(火) 10:30~16:00 (受付10:00)

場所：沖縄市民会館 中ホール

< 八重山 >

平成30年12月4日(火)

10:30~16:00 (受付10:00)

場所：八重山合同庁舎2階会議室

< 宮古 >

平成30年11月7日(水)

10:30~16:00 (受付10:00)

場所：宮古合同庁舎2階講堂

参加申込：mail: tunaguot@gmail.com

FAX: 098-988-3712

問合せ：098-988-3711 (沖縄県作業療法士会 事務局)

< 申込〆切 >

10/26(金)

主催：沖縄県 (一社) 沖縄県作業療法士会

----- **FAX 送信票** -----

FAX 先

098-988-3712

(一社) 沖縄県作業療法士会 宛

平成 30 年度 ピアサポーター養成研修

～ ピアサポートと WRAP ～

【参加申込書】

代表者氏名	
所属先名	
連絡先	

名前	開催地	立場
	本島 八重山 宮古	当事者 支援者
	本島 八重山 宮古	当事者 支援者
	本島 八重山 宮古	当事者 支援者
	本島 八重山 宮古	当事者 支援者
	本島 八重山 宮古	当事者 支援者

E-mail: tunaguot@gmail.com (メール申し込み可)

問合せ: 098-988-3711 (沖縄県作業療法士会 事務局)

<申し込み〆切> 10月26日(金)

定員に達し次第〆切 定員: 本島 150名・八重山・宮古 各 80名

主催: 沖縄県・(一社) 沖縄県作業療法士会

ふれあいプラザ宮古は、女性の職員が多いこともあって、食べ物系のイベントが目白押し…
ちょこっと紹介します。

★ランチの会(月1回)★

みんなでメニューを決め、買出しから
行う人気のプログラムです。郷土料理
からパスタまで、本格的に作っています。

200円でしっかり食べれるとあって、
毎回20人近くの参加があります。

畑で採れた野菜や利用者・職員からの差し入れなどを
使い、栄養満点のランチになっています。



★お外 de ランチ(月1回)★



女子会として行っていたのですが、どうしても
男性利用者の「参加したい！」との要望にお応
えし、更に2ヶ月に一度行っていましたが、参
加したい人が多すぎて、月一回の恒例行事にな
りました(笑)宮古島バブルのおかげでお店もた
くさんでき、毎回楽しみにしています。今度は
やっぱり!『やっぱりステーキ』かな。

★プチカレーの日(月1回)★

主な行事が平日に行うことが多いので、
週末だけ通所される方に、と思い始め
たプログラム、「プチ」とつけましたが、
参加者がだんだん増えてきて、今では
25人前以上のカレーを作ってます。早
く来てくれた利用者と一緒に朝からカ
レー作り。先日は、畑で採れたゴーヤーを使ったゴーヤカレー、
きのこカレーと2種類作り、「合いがけカレー」でした。



★TAKE OUT de ランチ(毎週火曜日)★



たまには「ハンバーガー食べたい」のリクエストにお応えし、
時々ジャンクフードの買出しの機会もあり、せっかくなので、
プログラムに組み込んでしまおうと始まった企画、お弁当、
ハンバーガー、ケンタッキーなど毎週みんなの楽しみになっ
ています。

【相談支援事業所おきなわ(沖縄市)】

大きなわしあわせCityMap

沖縄市にある5つの委託相談支援事業所
合同で、沖縄市役所市民ロビーにてイベント
を開催しました。

沖縄市内を北部・中部・西部・東部4つに
分け、障害福祉サービス事業所の場所を地図
上に記したり、事業所のパンフレットを掲示
し、来庁した方や市役所職員の方々に見て
いただきました。

オープニングセレモニーでは仲本副市長
に沖縄市役所を地図に貼ってもらうキック
オフを行い、来場者の方々にも、参加型で知
っている地域の自慢を地図上に記して
いただきました。



◎編集後記◎

台風24号が長い時間滞在し、大きな爪痕を残していきましたね。久々の大きな台風の最中は恐怖さえ感じました。

停電の復旧が遅れている地域もある様子で、つくづくお水と電気のありがたさを感じています。台風が過ぎ去り、本格的に秋めいてきましたね。

肌寒くなったので、お体にはお気をつけて～(ナ)

編集：公益社団法人

沖縄県精神保健福祉会連合会
会長 山田 圭吾

〒901-1104

沖縄県島尻郡南風原町字宮平 206-1
てるしのワークセンター内

電話 098-889-4011 FAX098-888-5655

E-mail terushino@castle.ocn.ne.jp

発行：九州障害者定期刊行物協会

〒812-0024 福岡市博多区綱場町 1-17

福岡パーキングビル 4階

電話 092-753-9722 FAX092-753-9723

定価：10円(会費に含まれる)